

令和8年度 共通教育推進機構教学マネジメント計画書

学修者本位の教育の実現に向けて、教学マネジメント体制を確立するために、以下の観点について計画・実行・検証し、次年度以降の改善に繋げることとする。

1. 共通教育推進機構の方針

本学の教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）で次のとおり定めている。

1. 教育内容（共通教育科目に関連する部分のみ抜粋）

共通教育科目では、「人間科学教育科目」、「言語教育科目」、「体育教育科目」、「キャリア形成支援教育科目」に区分して授業を開講し、学生が自ら本学が目指す人材像に近づくために必要となる幅広い教養を身に付けることを目的とする指導を行います。

- ・「人間科学教育科目」は、さらに「人文科学」、「社会科学」、「自然科学」、「総合」の4つの領域に体系化された構成をもち、バランスのとれた豊かな教養を身に付けることを目指す指導を行います。
- ・「言語教育科目」は、「英語教育科目」と英語以外の「外国語教育科目」で構成し、「読む・書く・話す・聞く」の4技能を総合的に鍛えます。さらに英語教育科目では、企業等が必要とする実用的な英語運用能力の獲得を目指す指導を行います。
- ・「体育教育科目」は、身体能力の維持・向上と生涯にわたる健康の基礎づくりへの理解促進を目指す指導を行います。
- ・「キャリア形成支援教育科目」は、卒業後の社会で活躍する際に基盤となる社会性及び自立性の涵養を目指す指導を行います。

2. 教学マネジメントの組織体制

別紙のとおり。

3. 全学共通カリキュラムの編成及び実施等運営に関する課題およびその改善に向けた今年度の取り組み

課題

<全学共通教育センター>

- (1) アントレプレナーシップ学環の開設及び文化学部学科改組に伴う設置計画の確実な履行
- (2) 人間科学教育カリキュラムにおける14テーマの履修状況の検証
- (3) 全学必修英語カリキュラムにおける教育内容の検証
- (4) 言語教育カリキュラムにおける教育内容の検証
- (5) 体育教育カリキュラムにおける開講科目の検討

<教職課程教育センター>

- (1) 教職課程の自己点検・評価報告書の完成
- (2) 再課程認定に向けた教職課程の体制整備の推進
- (3) 教員採用試験の早期化・複線化に伴う支援体制の充実及び多様な進路選択に対応した支援体制の強化

<キャリア教育センター>

- (1) 入学前～初年次におけるキャリア意識の醸成と入学者確保への寄与（入口の強化）

(2) 卒業直前期における社会に出る準備支援の在り方の検討(出口の強化)

<初年次教育センター>

(1) 授業内容の質保証と履修環境(定員等)の最適化

今年度の取り組み

<全学共通教育センター>

履修者数、成績分布、TOEIC等の指標、授業評価アンケート等を用いて、教育効果および運用状況を検証する。

(1)アントレプレナーシップ学環の開設及び文化学部学科改組への対応

設置計画に基づきカリキュラムの運用を開始し、履行状況について関係部署と連携しながら確認・報告を行う。

(2)人間科学教育カリキュラムの検証

履修状況および科目群構成について点検し、各種会議体にて教育内容・履修構造の妥当性を検証する。

(3)英語カリキュラムの検証

「上級英語PLUS」履修者の学修成果を確認し、授業内容・構成の見直しを行うとともに、英語力全体の底上げを図る。

(4)言語教育カリキュラムの検証

履修動向を踏まえたクラス配置を行うとともに、教育内容の適切性について検証する。

(5)体育教育カリキュラムの検討

履修希望者の動向を踏まえ、適切な開講科目・クラス数となるよう調整を行う。

<教職課程教育センター>

教員採用試験受験者数・合格者数、教職ベーシック登録状況、自己点検報告書評価結果等を用いて検証する。

(1)教職課程における自己点検・評価報告書の作成・公表

報告書を作成し、京都地区私立大学教職課程研究連絡協議会における会員大学間の相互評価を受けた後は、全私教協へ提出のうえ、本学ホームページ上で公表する。

(2)再課程認定に向けた体制整備の推進

将来の再課程認定を見据え、認定要件を充足するため、教員の業績充実にに向けた取組を推進する。

(3)教員採用試験における支援体制の充実及び多様な進路選択に対応した支援体制の強化

教員採用試験の早期化・複線化を踏まえ、情報提供・個別支援の充実および支援体制の拡充を図る。併せて、多様な進路を支える取組として佛教大学の小学校教諭二種免許状取得プログラムの併修を継続する。

<キャリア教育センター>

履修者数の推移、授業評価、学習成果実感調査等により教育効果を検証する。

(1)入口段階の強化

高大接続におけるキャリア教育の支援や初年次教育との連携を推進する。

(2)出口段階の強化

卒業前における社会人基礎力支援プログラムの検討・設計を行う。

<初年次教育センター>

科目間の成績分布のばらつき、履修者数、学生アンケート結果等により教育の均質性および効果を検証する。

(1) 授業内容の質保証と履修環境の最適化

教員間連携による授業改善を進めるとともに、履修動向を踏まえたクラス数・定員の調整を行う。

以上

※この内容は、本学における教学マネジメントの一環として、本学 HP へ掲載します。